月 例 統 計 報 告 (令和5年4月)

令和5年5月11日 企 画 振 興 部

1 秋田県の人口(秋田県の人口と世帯(月報) (令和5年4月1日現在))		1
本県の総人口は、918,811人(男 433,912人 女 484,899人)		
前月に比べ、3,991人 (0.43%) 減少		
自然増減 1,123人 の減少(出生者 318人 死亡者 1,441人)		
社会増減 2,868人 の減少(県内への転入者2,210人 県外への転出者5,078人)		
この1年間では、16,485人(1.76%)の減少		
2 秋田県経済の動き		
(1) 製造業の生産動向(鉱工業生産指数月報(令和5年2月分))		2
秋田県鉱工業生産指数(平成27年=100)		
季節調整済指数 90.4 : 前月比 3.9%低下(2か月ぶりの低下)		
原指数 92.0 : 前年同月比 12.0%低下		
全国の鉱工業生産指数(平成27年=100)		
季節調整済指数 94.9 : 前月比 4.6%上昇		
(2) 雇用·労働情勢 (毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和5年2月分))		3
賃金、労働時間及び雇用の動き [事業所規模5人以上] 対前年比(前月比)は指数により算出	ţ	O
現金給与総額 234,344円 : 前月比 0.1%減、前年同月比 2.0%増	1	
総実労働時間 140.4時間 : 前月比 2.5%増、前年同月比 0.4%増		
常用雇用指数 99.7 (令和2年=100)		
: 前月比 0.1%減、前年同月比 0.6%増		
(3) 物価動向 (消費者物価指数(令和5年3月分))		4
秋田市消費者物価指数 106.1 (2020年=100)		-
前月比 0.6%上昇、前年同月比 3.1%上昇		
全国の消費者物価指数 104.4 (2020年=100)		
前月比(季節調整値) 0.3%上昇、前年同月比 3.2%上昇		
(4) 景気動向(秋田県景気動向指数(令和5年2月分))		5
先行指数 113.8 前月を0.4ポイント下回り、5か月連続で下降		
一致指数 80.7 前月を0.3ポイント下回り、2か月ぶりに下降		
遅行指数 114.6 前月を1.3ポイント下回り、2か月ぶりに下降		
3 景況ダイジェスト(県内・東北・全国)		6 ∼ 7

- 1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和5年4月1日現在)」)
 - (1) 令和5年4月1日現在 の本県の総人口は 918,811人(男 433,912人 女 484,899人) となり、前月に比べ 3,991人(0.43%)の減少となった。

自然増減 1,123人 の減少(出生者 318人 死亡者 1,441人)

社会増減 2,868人 の減少(県内への転入者 2,210人 県外への転出者 5,078人)

(2) この1年間では、16,485人(1.76%)の減少となった。

自然増減 13,651人 の減少(出生者 3,931人 死亡者 17,582人)

社会増減 2,834人 の減少(県内への転入者 12,237人 県外への転出者 15,071人)

(3) 世帯数は 384,295世帯 となり、前月に比べ 375世帯 の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

		自然 増	減		社 会 増	減	人口増減
年 月	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	=自然増減
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	+社会増減
2022年 3月	326	1.463	▲ 1. 137	2. 353	5. 113	2 . 760	▲ 3.897
4月	305	1, 321	▲ 1, 016	2, 096	1, 548	548	▲ 468
5月	360	1, 397	▲ 1, 037	1, 074	833	241	▲ 796
6月	345	1, 305	▲ 960	817	833	▲ 16	▲ 976
7月	318	1, 162	▲ 844	916	901	15	▲ 829
8月	354	1, 413	▲ 1, 059	980	928	52	▲ 1, 007
9月	344	1, 484	▲ 1, 140	761	926	▲ 165	▲ 1, 305
10月	335	1, 462	▲ 1, 127	852	747	105	▲ 1, 022
1 1 月	354	1, 575	▲ 1, 221	621	732	▲ 111	▲ 1, 332
12月	295	1, 796	▲ 1, 501	653	780	▲ 127	▲ 1,628
2023年 1月	308	1, 790	▲ 1, 482	594	810	▲ 216	▲ 1,698
2月	295	1, 436	▲ 1, 141	663	955	▲ 292	▲ 1, 433
3月	318	1, 441	▲ 1, 123	2, 210	5, 078	▲ 2,868	▲ 3, 991
直近1年間の累計 (2022. 4~2023. 3)	3, 931	17, 582	▲ 13, 651	12, 237	15, 071	▲ 2,834	▲ 16, 485

(参考)

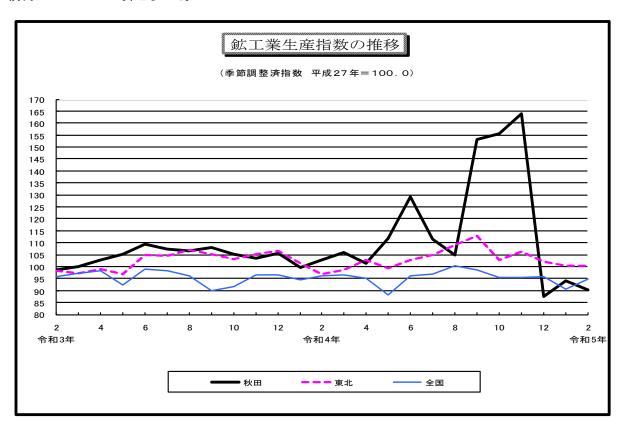
2021.4~2022.3の累計	4, 359	16, 038	▲ 11, 679	11, 289	14, 325	▲ 3, 036	▲ 14, 715
------------------	--------	---------	------------------	---------	---------	-----------------	------------------

2 秋田県経済の動き

(1)製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和5年2月分)」)

令和5年2月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が90.4(前月比3.9%減)となり、2か月 ぶりに低下した。また、原指数は92.0となり、前年同月と比べ12.0%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は94.9となり、前月比で4.6%の上昇となった。また、東北は100.3となり、前月比で0.1%の上昇となった。



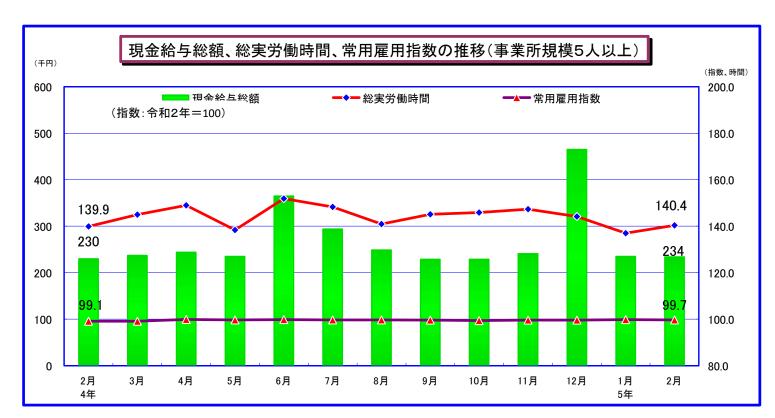
〇主な増減要因(季節調整済指数 平成27年=100.0)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
口上昇した主な業種			
生産用機械工業	169.7	26.8	その他の特殊産業用機械
<u>鉄鋼·非鉄金属工業</u>	90.8	9.9	電気金
化学工業	95.5	7.9	医薬品原薬
□低下した主な業種			
食料品工業	165.8	▲ 11.4	冷凍調理食品
金属製品工業	73.7	▲ 20.9	鉄骨
電子部品・デバイス工業	67.4	▲ 3.7	磁性材料用粉末や金

※影響度の大きい順に並べたものである。

(2) 雇用·労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和5年2月分)」) (※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和5年2月の現金給与総額は234,344円となり、前月比で0.1%の減、前年同月と比べ2.0%の増となった。 総実労働時間数は140.4時間となり、前月比で2.5%の増、前年同月と比べ0.4%の増となった。 常用雇用指数は99.7となり、前月比で0.1%の減、前年同月と比べ0.6%の増となった。



〇産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
金融業, 保険業	296,767	21.9
学術研究、専門・技術サービス業	340,347	19.7
生活関連サービス業, 娯楽業	182,874	14.6
減少した産業(上位3つ)	金額(円)	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	135,315	▲ 8.3
運輸業, 郵便業	257,638	▲ 6.2
教育, 学習支援業	313,284	▲ 6.2

2 総実労働時間

増加した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	127.3	10.9
医療, 福祉	138.1	5.0
建設業	156.0	4.7
減少した産業(上位3つ)	時間	前年比(%)

教育,学習支援業	120.2	▲ 7.1
教育, 字省文振業 サービス業(他に分類されないもの)	120.2 131.4	▲ 7.1 ▲ 6.5

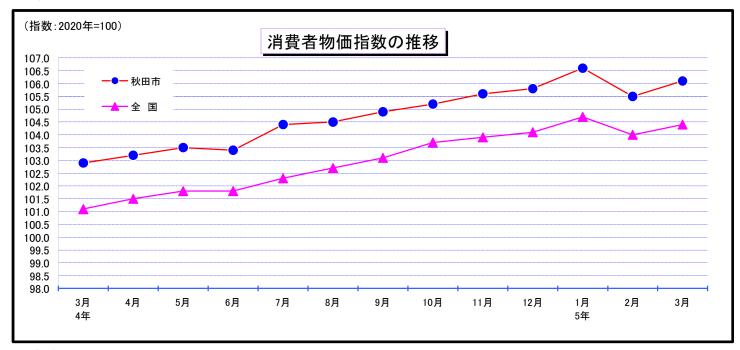
3 常用雇用指数

増加した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
複合サービス事業	83.9	33.2
サービス業(他に分類されないもの)	108.0	23.0
金融業, 保険業	94.7	6.3
減少した産業(上位3つ)	指数	前年比(%)
卸売業, 小売業	96.8	▲ 3.8
製造業	105.3	▲ 2.1
建設業	95.6	▲ 2.0

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和5年3月分)」)

令和5年3月の秋田市消費者物価指数は106.1(2020年=100)となり、前月比で0.6%の上昇、前年同月比で3.1%の上昇となった。

なお、全国の消費者物価指数は104.4となり、前月比(季節調整値)で0.3%の上昇、前年同月比で3.2%の上昇となった。



ТОТОСТ	指数の動き(2020年=100):秋田市 総合				食 料			住 居	光熱· 水道	家 具・ 家事用品	被服及び 履 物	保健医療	交 通 · 通 信	教 育	教養娯楽	諸雑費
		生鮮食品を 除く総合	びエネルギー を	食料(酒類を 除く)及びエ ネルギーを 除く 総 合		生鮮食品	生鮮食品 を除く 食料									
当月指数	106.1	105.6	104.6	102.3	112.0	115.8	111.2	105.8	110.2	112.7	106.0	101.4	95.0	99.6	106.4	104.3
前月比(%)	0.6	0.5	0.7	0.6	1.2	1.5	1.1	0.0	▲ 1.1	4.2	1.0	0.6	0.3	0.0	1.0	0.2
前年同月比(%)	3.1	3.2	4.5	3.1	7.4	2.5	8.6	3.8	▲ 5.8	7.1	2.1	1.6	1.5	▲ 0.3	2.0	2.8

総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

〔上昇〕

<u> </u>				
10大費目		中分類	前年同月比	寄与度
食	料	魚介類	19.5	0.53
住	居	設備修繕•維持	16.2	0.58
家具・3	家事用品	家事用消耗品	13.7	0.15

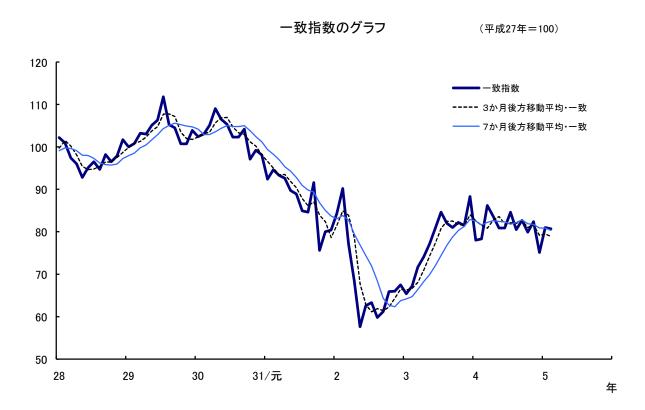
[下落]

107	費目	中分類	前年同月比	寄与度
光 熱	・水道	電気代	▲ 12.1	▲ 0.55
教	育	授業料等	▲ 0.6	▲ 0.01

[※]寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向(「秋田県景気動向指数(令和5年2月分)」)

先行指数 113.8 前月を0.4ポイント下回り、5か月連続で下降した。 一致指数 80.7 前月を0.3ポイント下回り、2か月ぶりに下降した。 遅行指数 114.6 前月を1.3ポイント下回り、2か月ぶりに下降した。



〇一致指数採用系列の前月比較

系 列 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.49	1.42	▲ 0.07	▲ 1.68
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	▲ 7.8	▲ 3.1	4.70	▲ 0.91
鉱工業生産指数(H27年=100)	94.1	90.4	▲ 3.93%	▲ 1.15
生産財生産指数(H27年=100)	79.2	79.4	0.25%	0.13
百貨店・スーパー販売額(%)	2.0	1.5	▲ 0.50	▲ 0.10
新車販売台数(台)	2,739	2,826	3.18%	0.64
投資財生産指数(H27年=100)	103.9	99.0	▲ 4.72%	▲ 0.67
建築着工床面積(非居住用)(㎡)	17,655	50,935	188.50%	1.45
秋田空港利用者数(人)	86,174	97,740	13.42%	1.95
CI 一致指数(全体值)	81.0	80.7	▲ 0.3	

		景況タ	イジェス	ト(令和5	年4月)			
対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日				内 容			
	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和5年4月17日公表	・需要面をみ 投資は、弱め ・生産は、横	の動きとなっ ばい圏内の動	費は、持ち直 ている。設備 lきとなってい	しが明確化して 投資は、製造 る。 一服している。	美を中心に一段		
	県内経済動向調査結果 産業政策課 令和5年2月分 令和5年4月17日公表	ているほか、 製造業: 建売業: サーt [*] ス業:	製 電動公共は 電動公共体と 主きが では では では では では では では では でも では でも でいて でいて でいて でいて でいて でいて でいて でいて	な動きが続い バイス・電子 いる。 か月ぶりに前 ^を 型調に推移し きが続いとい 比較すると、3		ごス業は持ち直 食含みの動きが。 た。 記比較は▲33.2:	しの動きが続い みられ、全体と から▲16.9、ヨ	たいる。 :しては堅調な :社での資金繰り
県 内	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和5年2月分 令和5年4月号	電子部品お	よび機械金属ともに前年を	の生産は前年 下回った。個	しの動きが足路 を下回り、木林 人消費は全体と	才は低調に推移		
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和5年4月号	最近の県内 力の持家の不 にあり、自動 産活動は弱め	経済は、足元 振から低調な 車販売も低水 の動きはある	の公共投資は 動きとなって 準ながら前年	も持ち直す県内がまたのでは、たったが、たったが、たったが、たったが、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないで	zものの依然減 個人消費は小 総じてみれば	売業主要業態販 増加しています	売が増加傾向 。この間、生
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和5年3月分 令和5年4月28日公表	(全有効求人数(① 新規求人数(② 有効求人数 ③ 新規求職者	:国平均は1.32 (季節調整値) 数は9,076人、 数は23,357人、 者数は4,603人	倍、前月比0. は前月に比べ 前年同月比11 前年同月比5、前年同月比5、	節調整値)は1 02ポイント下回 て6.6%減少、 .6%(1,193人 .8%(1,441人 1.4%(64人) 比6.0%(1,015	回る。) 有効求職者数)減少。同比3)減少。同比4 減少。同比3か	(同) は同水準 か月ぶりで減少 か月連続で減少 月ぶりで減少し	となっている。 > した。 > した。 - た。
	秋田県企業倒産状況 (株)東京商エリサーチ秋田支店 令和5年3月度 令和5年4月4日公表		前年同月比 前年同月		6件 +20.00% 5件 項は過去10年の	負債総額 3月度単月で何:	+4 11億4, 900	. 09% 万円
	情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和5年3月分 令和5年4月13日公表 秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和5年3月分 令和5年4月14日公表	3月分 比較 対前年度増減 区分 発注者 国 独立行政法人等	令和4 件数 35 1 300	年3月 請負金額 3,929 18 14,333	▲ 41.7 ▲ 8.4 全額48. 4%増加 令和5: 件数 26 1 306	年3月 <u>請負金額</u> 14,740 14 14,170	対前年度 件数 ▲ 25.7 0.0 2.0	収益状況
		市町村 地方公社 その他※ 合 計 ※「その他」発 指定公共工		0 1,232 20,478	37 0 2 372 地方公共団体、地	1,150 0 317 30,393 2方公社を除く国コ	131.3 - ▲ 33.3 4.8 土交通大臣が指定	19.3 - ▲ 74.2 48.4 Eする

	県内経済情勢報告	項 目 内容						
	財務省東北財務局	総括判断 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている						
	秋田財務事務所	個人消費 持ち直しつつある						
	令和5年4月分	生産活動 回復に向けた動きに一服感がみられる						
	令和5年4月25日公表	雇用情勢 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている						
県		設備投資 4年度は減少見込み						
		企業収益 4年度は増益見込み						
		企業の景況感 「下降」超幅が拡大						
l . l		住宅建設 前年を下回っている						
内		公共事業前年度を下回っている						
	秋田県内全国企業短期経済観測調査結果	[3	業況判断DΙ]	4年	5年		5年	
	日本銀行秋田支店	単作	立:%ポイント	12月	3月	変化幅	6月(予測)	変化幅
	令和5年3月調査		全産業	6	1	A 5	1	0
	令和5年4月3日公表		製 造 業	▲ 6	▲ 14	▲ 8	▲ 6	8
			非製造業	11	8	▲ 3	4	A 4
	管内の経済動向	۸ <i>ل</i> ـ ۵	毛力 何让儿子杜子	+1 -1.7			•	
	東北経済産業局	全体の	動向:緩やかに持ち	直している				
	令和5年2月分	鉱工業生産:一進一退となっている						
	令和5年4月20日公表	個人消費:持ち直している						
		住宅着工:弱い動きがみられる						
		公共投資:下げ止まりの動きがみられる						
		設備投資:増加している						
東								
	<u>企業倒産:落ち着いた動きとなっている</u> 管内経済情勢報告 項目 の 内容							
	財務省東北財務局	総括		直している		.14.		
北	令和5年4月分							
1	令和5年4月25日公表	個人消費 緩やかに持ち直している 生産活動 一進一退の状況にある						
	月110年4月20日五数							
		雇用情勢 緩やかに持ち直している 設備投資 4年度は減少見込み						
		放開投員 4年度は減少見込め						
		企業収益 4年度は増益見込み						
		住宅建設 前年を下回っている						
		住宅建設 削牛を下回っている 公共事業 前年度を下回っている						
	月例経済報告							
	内閣府	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。						
	令和5年4月	個人消費:緩やかに持ち直している						
	令和5年4月25日公表	設備投資:持ち直している						
		住宅建設:底堅い動きとなっている						
		公共投資:底堅く推移している						
		輸 出:弱含んでいる						
		輸入:おおむね横ばいとなっている						
		貿易・サービス収支:赤字となっている						
		生 産:このところ弱含んでいる 企業収益:総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている						
全		業況判断:持ち直しの動きがみられる						
포								
		倒産件数:増加がみられる						
		雇用情勢:持ち直している						
国		国内企業物価:このところ横ばいとなっている						
		消費者物価:上昇している						
	月見17回・上升している							
		先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくこと が期待される。ただし、世界的な会融引終め等が終く内、海内界気の下振れが飛が図の界気を下掘し						
		が期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十						
		分注意する必要がある。						
	△ 光左田47 ☆年7回三十 4十日	F.	#:D40WCP * 1	/=- /	\ * \	/ 🚣 🕮	△ 坐 \	人担性人二
	企業短期経済観測調査結果		業況判断DI]	〈大1			企業〉	全規模合計
	日本銀行調査統計局	単1	<u> 立:%ポイント</u>	製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業
	令和5年3月調査分		4年 / 12月	7	19	<u>▲ 2</u>		6
	令和5年4月3日公表		5年 / 3月	1	20			5
			変化幅	▲ 6	1	A 4	2	▲ 1